



蘇
176

擇啓時不測寒

先以

逾清健勝の原事

車賀此石川の氣

候厚の自愛を禱

秋小生義昨年夏來

時腹部の痛み

感し上京致し延引

と漸再昨二日

夕上京早速お廻

感し上京段々延る

と漸々再昨二日

夕上京早速お題

の仕と處醫の診

全と盲腸部の充血

付餘り乱暴な事を

為して盲腸炎杯

暫くうらなぬ依り

暫くうらなぬ依り

避け貴族院と途中

車と静かもし出席す

かく許を浮くある

其他の當分注し

走馬する相今之週

向も身体を静養

必處々爽向差又

健康このお成との慰告

て右の状態なる當

分心外と先禮仕る

平の海容なる

必^ク處^ニ來^リ向^テ美^シ美^シ美^シ
健康^ニの^レお^レ成^ルの^レ慰^メ告^ス
て^ハ右^ノ状^態に^ハ當^ル
分^ハ心^外に^ハ去^リ禮^儀に^ハ當^ル
卒^ニ一^ノ海^容に^ハ及^ブ
尚^ク
奥^方様^へも^ハ時^不出^候
申^上之^及び^ハ悼^念に^ハ及^ビ
上^等願^を草^略
不^敬謹^言

二月四日

直彬

大隈仁兄先生

研 北